

7月15日に本校で飼養している豚の中で一番高齢の「いちご」が分娩し、その様子を養豚部生徒が見学しました。今回で8産目となるいちごは、梅山豚とバークシャー種の交雑種で、今回生まれた子豚たちはさらにバークシャー種をかけ合わせた品種になります。バークシャー種は黒豚として有名な品種のため、生まれた子豚たちは黒がちの体色が見られました。

豚は通常一度のお産で10～16頭程を、2～3時間をかけて1頭ずつ分娩します。夕方からの分娩だったため、残念ながら生徒は最後まで見届けることはできませんでしたが、いちごは合計14頭の子豚を娩出しました。生まれた子豚はこれから生徒たちが出荷まで大切に育てていきます。



「いちご」と一番最初に生まれた子豚を見守る生徒